

環境だより⑤

令和8年3月24日

富士見台丁目1丁目自治会環境委員会

花壇のお花がとてもきれいです！

全体として多くの花壇はきれいに整ってきています。環境委員や区長、そしてボランティアで育ててくれている皆さんのご努力によるものであると思います。自ら地域を大切にする皆さんに感謝する気持ちを、まずお互いが持ちたいと強く思います。

一方で、「気候の変化に対応できない」や「環境委員等役員の負担が大きい」という声もあり、今後の在り方を考える必要があります。

令和8年度は花壇の“再考・試行の年度”です。



環境委員さんが毎日“草取り”をしてくださり、雑草が“謙虚”になりました(笑)

花壇のよさ

- 近隣の人達が、短い時間であっても共同作業をする“よさ”。普段、人と人とのかかわりの少ない現状下でとても貴重なひとときであり、有事対策にもつながります。
- 「花壇のお花に心が癒される。」という声を多く聞きます。県道沿い、公園に咲く花は富士見台1丁目の象徴であり、他地域から高く評価されています。
- 花壇やお花を大切にしている人たちがいます。この“大切にする輪”を大きくしたいと思います。
- 区によっては、小中学生をはじめとする若者や親子での参加がみられます。また、新しく富士見台に居住されたご家族が多く参加しているのを見ると、交流の場としての存在を実感します。



課題

- 酷暑が花の成長を難しくしています。水かけや雑草取り等、毎日行わなければ花が枯れてしまいます。
- 場所によっては、雑草の成長が早く花が“負けて”しまいます。
- 市からの花苗配給が、極端に減少しています。購入値段も高騰しています。
- 環境委員や区長の負担が大きい状況があります。(やり方次第ですが)

方策

- 「一年草」から「多年草」「宿根草」への転換
- 樹木(低木)を増やす。
- 花苗の数を減らす。
- 花壇を減らす。※市との調整が必要
- 管理方法を区ごとで工夫する。
- 管理を業者委託する。
- 年間1回の花植えにする。 など

☆ 試行「R8年度をどうするか」 →4月の区長会で決定します。

☆ また、富士見工業さんにアドバイスをお願いしたいと考えています。